

防災棟の概要

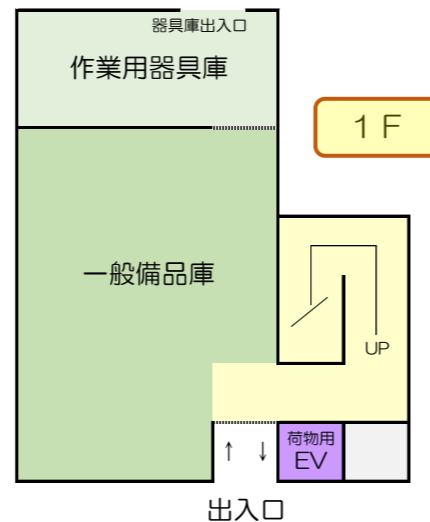
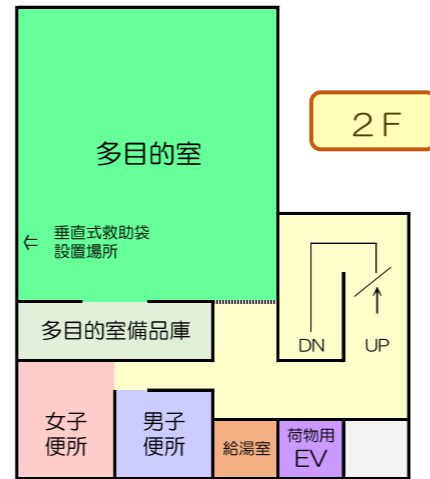
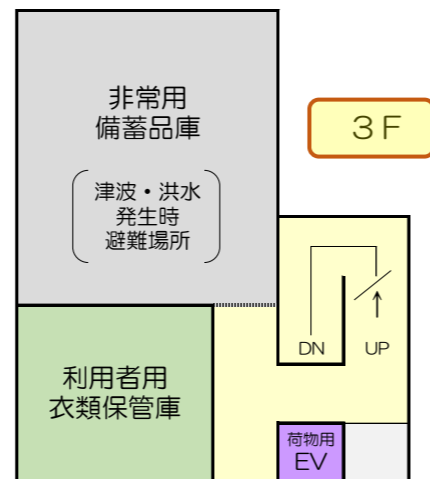
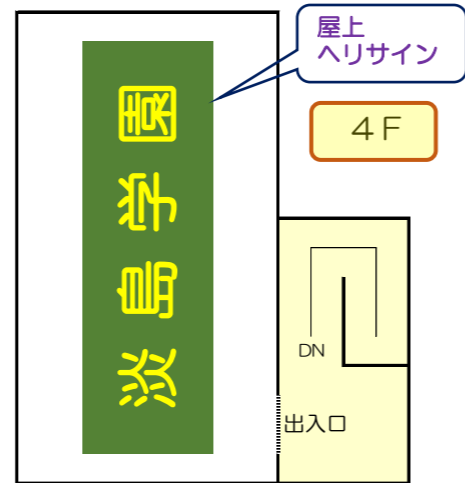
- 名称 防災棟
- 所在地 阿南市西路見町姥6-7 淡島学園内
- 延床面積 594.38㎡
- 構造 鉄骨造 4階建（準耐火建築物）
- 施工業者 清水建設(株)四国支店
- 総工費 1億55百万円（設計監理費を含む）

社会福祉法人 阿南淡島会

障害者支援施設 淡島学園

〒774-0009 徳島県阿南市西路見町姥6-7

TEL 0884-22-0379
 FAX 0884-22-6648
 URL <http://www.awashimagakuen.com>
 E-mail awashima@alpha.ocn.ne.jp



障害者支援施設 淡島学園

防災棟のご案内



社会福祉法人 阿南淡島会

～ 防災棟の果たす役割 ～



災害時の利用者支援

県の津波浸水想定によると、マグニチュード9.1の南海トラフ地震が発生した場合に想定される大津波により、学園付近は1～2m程度の浸水予測。また、市の洪水ハザードマップでは、派川那賀川・桑野川の堤防決壊による洪水で50cm程度浸水すると想定されています。そこで、学園では次のような機能を備えた防災棟を整備しました。

●津波・洪水発生時の「避難場所」

発災時に利用者が安全に避難できるよう、3階に避難場所を確保。同所には生存に必要な水・食料を備蓄しており、いざという時に使用できるようにしています。

●水・食料・日用品等「災害備蓄品庫」

防災棟に避難した利用者や職員の生存に必要な水・食料を4日分備蓄。常備薬や介護用品など利用者が必要とする用品も備えています。併せて、利用者が日常生活で使用する衣類や布団などの保管スペースを確保し、災害時にも対応できるようにしています。また、荷物の搬出入を支援する荷物用リフトを設置しています。

●「発電機」「ガスコンロ」等の整備

発災時には長時間の停電が予想されます。そこで、必要最小限の発電ができる発電機と非常食に使うための湯を沸かすためのLPガスコンロを配置しています。

●救助ヘリの道標「ヘリサイン」設置

大規模災害の発生時、他府県の警察や消防等のヘリコプターが救援活動の応援に来てくれます。こういった場合、目印となるものがないと目的地への到着が遅れ、助かる命が助けられないこととなります。そこで、社会貢献活動の一つとして、防災棟の屋上に「ヘリサイン」を設置し、もしもの場合に備えることとしました。



ガスコンロ

小型発電機



非常用備蓄品庫・避難場所



荷物用リフト



利用者の衣類庫



屋上のヘリサイン

備品庫・器具庫

利用者の日常生活を支援

1階は、大規模な津波等があった場合に浸水する恐れがあるため、利用者が作業する際の器具や運動会などの備品を保管。また、2階には利用者の文化活動や保護者の会合、職員研修会などに使用するスペースを確保しました。

●利用者の文化活動等の「多目的室」

利用者の文化クラブ活動を行う際に必要な部屋を確保するとともに、保護者会総会をはじめ、保護者の皆さんの会合のスペース、職員の各種研修会の開催など、様々な用途に活用できる場所を用意しました。

●利用者の活動を支援「各種備品収納」

運動会や淡島祭などの開催に必要な机・椅子、テントなどの備品、利用者の日常活動に欠かせない車いすや歩行器などの物品など、様々な備品類を収納。また、利用者が園内作業を行う際に使用する作業器具等を保管しています。



多目的室

多目的室の非常用避難器具



